



# This is OIKAMI.

～学ぶ楽しさ 人のあたたかさ 明日への希望 を見つける学校～

(老上小学校HPでは、日々の子どもの姿を紹介しています。ぜひご覧ください。)

## 人のよさを見つけ認めることのできる自分であり、集団でありたいです。

始業式の時に、全校の子どもたちに向けて、「私たちの小学校にはこんな良いところがあります。そんな老上小学校が好きです。」とアピールできることを、この1年で100個作ってみましょう！と呼びかけ、掲示板を設置して、子どもたちからの声を集めてきました。その結果、5月13日現在で34個の“たからもの”が私のもとに届いています。

「みんながやさしい。」「助け合える学校」と学校全体の様子を見て書いた手紙がたくさんある中で、「廊下や教室がいつもきれい。」「げた箱近くにある花壇や花がとてもきれい。」(3年)「図書室や絵本室に本がたくさんある。」(6年)と、教育環境に目を向けられる子どももいました。また、「おいかみ山がある。」(6年)「おいかみくんのようにみんなも人権を守っている。」(4年)(5年)と、本校のシンボルを愛し、その意味を理解している子どももたくさんいることがわかりました。さらに、「登校班長さんが横断歩道を旗で守ってくれるので、安心して学校へ来れているんだろうなあ。」と、上学年のお姉ちゃんお兄ちゃんに感謝の気持ちをもって登校している2年生の言葉もあり、とても感心しました。この取り組みを通して子どもたちが、今何に目を向けられているのか？どんな思いで学校生活を過ごしているのかに気付ける機会となっています。

私たちは普段、人のよさを見つけ、認めることの大切さはわかっていますが、なかなか口に出して相手に伝えられていないことがあります。また、自分を取り巻く環境に長い時間浸ってしまうと「あたりまえ」の意識が先行し、よさに対して鈍感になってしまうこともあります。今一度、子どもたちや教職員で、じっくりと老上小学校のよさを再発見したいと思います。

保護者さんや地域の皆さんも、何かお気づきのことがあれば、“たからものポスト”へぜひ投函してください。ちなみに私がすぐに見つけた老上小学校のたからものは、「しっかりと並んで登校できています。」「落ち着いた学習に取り組めます。」「先生方がとても熱心です。」の3つです。



## 命を育て、命の大切さを学びます。



1年生はアサガオを、2年生はナスビ・トマト・ピーマンを、3年生はホウセンカ・ヒマワリ・マリーゴールドを、4年生はヘチマを、5年生は『老上ふれあい農業高校』さんのお力を得て稲を育てています。また、3年生ではチョウの卵、5年生ではまもなくメダカを育てます。生活科や理科・総合的な学習としての栽培活動・観察学習ではありますが、ていねいに種をまき、苗を植え、毎日水を与えている姿や、チョウの卵の変化を楽しみに観察している様子を見たときに、「元気に育ってほしい。」という子どもの心の声が聞こえます。過日は、花ボランティア「ルンルン」さんが、昨年育ててくださった花の種を学校へ届けてくださり、子どもたちが大喜びでもらって帰る姿を見ました。

植物や動物を育て、一生を見届けることで、子どもたちは命の大切さを実感するのですね。

## 6月の行事予定について

日	月	火	水	木	金	土
5/30	31 4年ホールの子 (午後)	6/1 3年ホールの子 (午後) 1年耳鼻科検診①	2	3 1年眼科検診	4 1年耳鼻科検診②	5
6	7 委員会	8 検尿2次	9 検尿2次 5, 6年歯科検診	10 じんけんの日	11 学習参観②③	12
13	14 クラブ	15	16	17 心臓2次検診	18 6年校外学習	19
20	21 全校5校時日課 14:30下校 家庭学習チャレン ジ週間スタート	22 プール掃除 午前5年・午後6年	23	24	25	26
27	28 クラブ プール開始	29	30	7/1 グラウンド 改修工事予定	2 (8月末まで)	3

### 6月はいじめ防止啓発強化月間です。いじめのない学校づくりにご家庭でのご協力をお願いします。

4月9日から5月14日までの間に、いじめ事案として対応したケースがいくつかあります。

悪口を言われる、うわさをひろめられる、たたかれる、けられるなどといった行為をされ、被害を受けた児童や保護者からの不安な声や訴えが担任に届いたものでした。

学校では、このような事案があった場合に、担任がすぐに生徒指導担当教員や管理職に報告を行い、いじめ問題対策委員会を開きます。そこで情報共有をした上で、直ちにその行為を受けた子どもや、行為をおこなったとされる子どもに事実と心情の聞き取りを行い、再度、関係職員で情報の整理と指導の方針を協議します。そして、できる限りその日のうちに当事者同士を合わせて、本人たちが納得いく指導を行います。あわせて、各家庭には、聞き取ったことと指導内容をお伝えし、理解と今後の見守りについて家庭への協力を求めています。

学齢期の子どもは、いたずらや遊びの延長で相手にちょっかいをかけたりからかったりすることがあります。相手の気持ちを考えることを繰り返し指導し、善悪を正しく判断できる力を身につかせないといけません。子どもに関わるトラブルはいていねいに対応することが必要ですが、担任はそれに追われて、大切にしたい授業づくりや該当児童以外への見取りが十分できなくなる場合もあります。

いじめは、どの子どもにも起こりえることと捉えています。私たち教職員は、日頃の子どもの言動や人間関係の様子を注意深く見守るとともに、年5回「気持ちシート」(アンケート)を実施する中で、子どもの心を掴むようにしています。そして、その「気持ちシート」で気になる回答をした子どもがいたら、話を聞く時間を設けます。また、一人ひとり全員と話す教育相談も年2回行います。

先に述べたように、いじめについては、早期発見、早期解決が大切です。しかし、その前に「いじめ」を起こさせない心の育成が肝心です。学校では、あらゆる機会を通じて、いじめ防止(人権教育)を進めますが、ご家庭でも、いじめは決して許されない行為であることを今一度お話いただき、「いじめをしない」ことを約束させてください。よろしくお願いします。

### 6年生の実行委員会(有志)による積極的な動きが始まっています。

委員会活動とは別に、6年生の有志児童らによる「シトラスリボン運動」と「花栽培運動」が着々と進んでいます。「シトラスリボン」については、6年生がリボンを作成した後、全児童に配布し、コロナウイルス感染による差別をしない・させない取組に広がります。また、「花栽培」については、老上小学校が花で囲まれたやさしい学校になることをめざして、種から育ててくれる予定です。6年生の皆さん、素晴らしい取り組みをありがとう。( ^o^ )

